

平成28年度 高齢者福祉施設 ハートヴィレッチ谷汲の杜 事業報告

(1) 事業の概要

①事業目的

介護保険法における要介護認定において、要介護1以上の判定を受けた者及び64歳以下の者で特定疾患により要介護1以上の判定を受けた者を対象とし、身体上若しくは精神上著しい障害があるために常時の介護が必要で、かつ、居宅においてこれを受けることが困難なものを入居対象とする。

ハートヴィレッチ谷汲の杜では、利用者の生活と人権を最大限尊重しながら、快適で生き甲斐のある生活が送れるよう介護サービスを実施するとともに、心のケアにも力を入れ、安らぎや職員との信頼関係構築のための努力を行う。

②名称及び所在地

(ア) 名称 高齢者福祉施設 ハートヴィレッチ谷汲の杜

(イ) 所在地 〒501-1314 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名礼1248-13

TEL 0585-55-2611 FAX 0585-56-0141

③施設設置許可及び事業開始年月日、変更認可年月日（老人福祉法）

事業更新年月日及び指定の有効期限（介護保険法・障害者自立支援法）

（老人福祉法）

設置許可年月日 平成13年8月30日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

特養ホーム ホームヘルパー事業

変更認可年月日 平成22年6月7日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

入所定員の増加の認可

設置認可年月日 平成26年8月29日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜（ユニット型）

変更認可年月日 平成26年8月29日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

入所定員の減少の認可

（介護保険法）

介護保険事業指定（指定年月日） 平成13年9月1日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護（2172600526）

指定訪問介護事業所 ハートヴィレッチ谷汲の杜

指定訪問介護（2172600534）

事業更新年月日：平成 26 年 9 月 1 日

指定有効期限：平成 32 年 8 月 31 日

介護保険事業指定（指定年月日）平成 26 年 9 月 1 日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

指定介護老人福祉施設（2172601276）

指定有効期限：平成 32 年 8 月 31 日

介護予防事業指定（指定年月日）平成 18 年 4 月 1 日

特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の杜

指定介護予防短期入所生活介護（2172600526）

指定訪問介護事業所 ハートヴィレッチ谷汲の杜

指定介護予防訪問介護（2172600534）

事業更新年月日：平成 24 年 4 月 1 日

指定有効期限：平成 30 年 3 月 31 日

（障害者総合支援法）

障害者総合支援事業指定（指定年月日）平成 18 年 10 月 1 日

障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業

指定居宅介護事業所 ハートヴィレッチ谷汲の杜

居宅介護（2112600016）

事業更新年月日：平成 24 年 10 月 1 日

指定有効期限：平成 30 年 9 月 30 日

（地域生活支援事業）

移動支援事業（事業開始年月日）平成 28 年 9 月 1 日

指定居宅介護事業所 ハートヴィレッチ谷汲の杜

池田町 平成 28 年 9 月 1 日（2140400065）

揖斐川町 平成 28 年 9 月 1 日

大野町 平成 28 年 9 月 1 日

④規模及び構造

（ア）入居定員 従来型 50名 ユニット型 30名

（別に短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護含む）10名あり）

（イ）敷地面積 9343㎡

（ウ）建物延面積 3827.72㎡

（エ）建物構造 鉄筋コンクリート2階建

本法人が目的とする利用者を主体とした福祉サービスの提供と地域社会の中での日常生活支援をするため、施設の基本理念である「歴史と自然の中で人の暖かさを地域と共に求めて、高齢者の皆さんに生きる幸せと喜びを学び未来につなぐこと」とするから導き出した平成28年度の運営方針は、人手が少ない中、職員一人ひとりの力を結集し、全体として良い介護サービスが提供できるよう、次の4点としました。

1. 職員が専門的な知識と技術に基づいた介護ができるよう、資質及び技術の向上への取り組みをする。
2. 地域へ向けて介護に関する情報提供をする。
3. 短期入所生活介護（介護予防含む）の稼働率70%を目指す。
4. 訪問介護（介護予防含む）、障害者自立支援法の居宅介護も合わせて、月延べ利用者数200件を目指す。

入居者・利用者の皆様が、地域・家庭・その人らしく、日常生活を送っていただけるよう、共により一層の精進を図ることも課題とし、地域の信頼を更に得られる施設となるよう努めました。

開設以来14年半の経験を活かしながら従来型特養の更なる発展・ユニット型特養の運営の定着を目指し、職員個々の長所を引き出しながら、よりよい介護サービスを目指し、運営をしてまいりました。

全国老人福祉施設協議会の推進する「科学的介護の実践」に向けての取り組みを継続し、介護保険法の理念である『利用者の自立』に向けたケアにも努めました。

平成28年度の重要事項についても次のように定めました。

- ① 個別ケアプランの内容の再検討と内容を伴った簡素化
- ② 水分摂取量の増加・歩行訓練による活動量の増加
- ③ 介護サービス提供の質の向上のために施設内研修を積極的に開催する
- ④ 稼働率の向上、加算の取れる体制づくり
- ⑤ 施設組織の再構築、責任分担の明確化

- ① 個別ケアプランの内容の再検討と内容を伴った簡素化

ケアプランの内容が、よりご利用者の生活実態に沿ったものになるように努めました。

また、モニタリングについても多職種の複数の職員で検討や確認を行なう事により、より有意義なものとなるように努めました。プランの簡素化については、平成26年度より実施していますが、今後も継続していきます。

- ② 水分摂取量の増加・歩行訓練による活動量の増加

水分摂取については、前年度に引き続き、朝食前に水分を摂って頂くなど継続出来て

います。歩行訓練については満足には取り組めていませんが、機能訓練指導員により個別の歩行リハビリを行っています。その歩行を通常のケアの中にどう取り入れる事が出来るか、課題が残っています。

③ 介護サービス提供の質の向上のために施設内研修を積極的に開催する

感染症対策や事故予防については担当委員会を中心にノロウイルス対策、危険予知トレーニング等の研修を開催しました。その他、入居者処遇についてや、決定事項の統一を図るため、従来型、ユニット型それぞれのケア会議において、短時間の勉強会を開催し資質の向上に努めました。

④ 稼働率の向上、加算の取れる体制づくり

「稼働率の向上」については、目標稼働率を98%と定めました。

従来型特養においては、長期入院や退所後の補充に時間を要したため、達成できなかった月もありますが、年間を通しては99%稼働となり、達成できたと感じます。

ユニット型においては、入院者は出たものの入居者の健康維持や体調管理に努め、目標を達成する事ができました。次年度も引き続き、入居者の健康維持や体調管理に努め、従来型・ユニット型共に、必達できるようにします。

「加算の取れる体制づくり」は実現できたと思いますが、急な人員不足でも加算体制が継続できるようにしっかりと努めていきます。

⑤ 施設組織の再構築、責任分担の明確化

従来型施設において、介護部署については、平成27年3月より介護リーダー及び介護サブリーダーを新たに任命しました。しかし、リーダー、サブリーダーの職務の理解や、それを行動に移す事が十分に出来ず、大きな成果が挙げられませんでした。次年度も引き続き、役職者の職務とはどういったものか、またそれを実行する力を養うよう努めます。

ユニット施設での介護部署においては、各ユニットリーダーを中心とした、連絡や報告、相談ができる体制作りを心がけてきました。しかし、ユニットリーダーと介護員とが情報共有できていない部分や、役職者同士の連携不足もあり、組織としての役割に欠けていた面もありました。今後も引き続き、ユニットリーダーがそれぞれのユニットの中心となり、介護員との情報共有や相談など密にしていけるよう努めていきます。また、ユニット部署に統括リーダーを置き、ユニットとしての考え方の統一や処遇方針の統一を図る事が出来るような組織体制作りも必要と考えています。

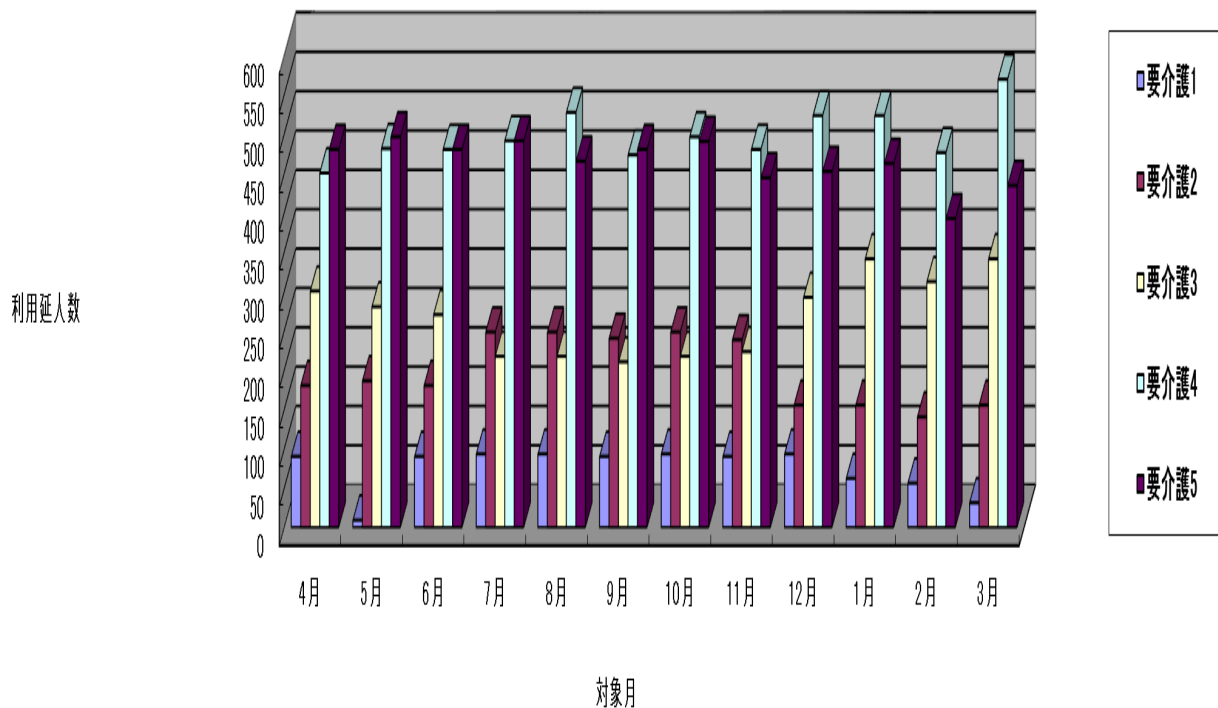
施設全体から見た介護・医務・介助・用務などの各部署や、介護支援専門員や生活相談員、栄養員などの専門職も含め、組織という大きな枠組みから考えても、責任分担の明確化を図り、それぞれが自分のやるべき事を理解して動いているとは言えません。一人の職員からサブリーダー、リーダーといえる中で、自分が課せられた使命が何なのかを再度認識、理解させる必要があると思います。平成29年度においても、この施設組織の再構築、責任分担の明確化を重要と考え、取り組みます。

（３）平成２８年度 特別養護老人ホーム 稼働実績

【従来型】

介護度 月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	外泊	初期	月利用者数	日平均	稼働率	月間日数
4月	90	180	300	450	480	1	42	1,500	50.00	100%	30
5月	9	186	280	481	496	0	32	1,452	46.84	94%	31
6月	90	180	270	480	480	0	32	1,500	50.00	100%	30
7月	93	248	217	491	491	18	0	1,540	49.68	99%	31
8月	93	248	217	527	465	12	30	1,550	50.00	100%	31
9月	90	240	210	473	480	6	19	1,493	49.77	100%	30
10月	93	248	217	496	490	17	30	1,544	49.81	100%	31
11月	90	238	223	480	444	30	14	1,475	49.17	98%	30
12月	93	155	292	523	452	0	55	1,515	48.87	98%	31
1月	62	155	341	523	462	6	47	1,543	49.77	100%	31
2月	56	140	312	476	392	30	24	1,376	45.87	92%	29
3月	31	155	341	569	434	7	51	1,530	49.35	99%	31
合計	890	2373	3220	5969	5566	127	376	18,018	49.36	99%	335
月平均延べ人数	74.17	197.75	268.33	497.42	463.83	10.58	31.33	125.13	49.09	98%	30.50
1日当り	2.43	6.48	8.80	16.31	15.21	0.35	1.03	49.36	49.36	99%	0.92

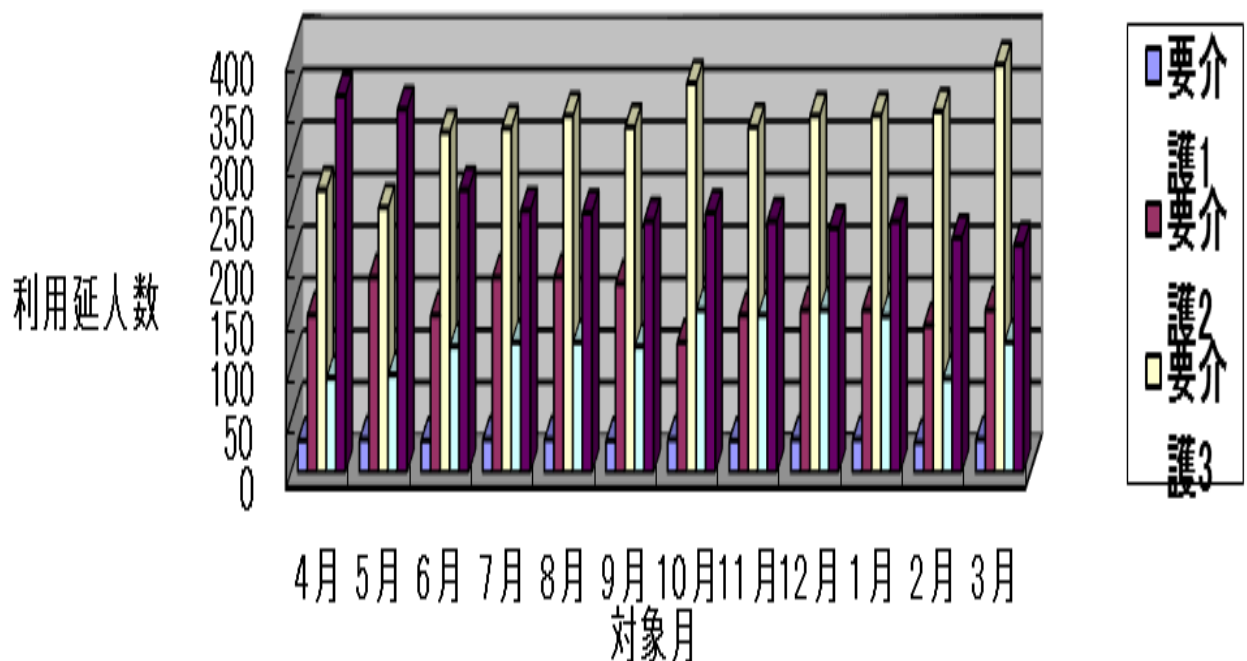
平成28年度 介護老人福祉施設事業実績表



【ユニット型】

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	外泊	初期	月利用者数	日平均	稼床率	月間日数
30	150	270	90	360	0	0	900	30.00	100%	30
31	186	253	93	347	0	5	910	29.35	98%	31
30	150	325	120	270	0	50	895	29.83	99%	30
31	186	329	124	250	0	24	920	29.68	99%	31
31	186	341	124	248	0	11	930	30.00	100%	31
30	180	330	120	240	0	0	900	30.00	100%	30
31	124	372	155	248	0	0	930	30.00	100%	31
30	150	330	150	240	0	0	900	30.00	100%	30
31	155	341	155	233	6	0	915	29.52	98%	31
31	155	341	149	240	6	23	916	29.55	98%	31
28	140	345	89	224	0	44	826	29.50	98%	28
31	155	390	124	217	12	23	917	29.58	99%	31
365	1917	3967	1493	3117	24	180	10,859	29.75	99%	365
30.42	159.75	330.58	124.42	259.75	2.00	15.00	75.41	29.75	99%	30.36
1.00	5.24	10.84	4.08	8.52	0.07	0.49	29.75	29.75	99%	1.00

平成28年度 介護老人福祉施設事業実績表



(4) 平成28年度 特別養護老人ホーム入所者の状況

性別・年齢別状況表

(平成29年3月31日現在)

区分 性別		60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	100歳以上	計
従来	男	0	0	2	1	1	4	2	2	0	0	12
	女	0	0	0	0	4	9	10	12	2	1	38
計		0	0	2	1	5	13	12	14	2	1	50
割合		0%	0%	4%	2%	10%	26%	24%	28%	4%	2%	100%
ユニット	男	0	0	0	1	0	4	0	2	0	0	7
	女	0	0	2	2	1	1	5	7	3	0	21
計		0	0	2	3	1	5	5	9	3	0	28
割合		0%	0%	7%	11%	4%	18%	18%	32%	11%	0%	100%
従来・ユニット計		0	0	4	4	6	18	17	23	5	1	78

介護認定結果表

(平成29年3月31日現在)

介護度 性別		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
従来	男	0	0	0	0	4	3	5	12	3.06
	女	0	0	1	5	7	16	9	38	4.27
合計		0	0	1	5	11	19	14	50	3.88
割合(%)		0%	0%	2%	10%	22%	38%	28%	100%	
ユニット	男	0	0	0	0	4	2	1	7	5.00
	女	0	0	1	5	7	2	6	21	2.80
合計		0	0	1	5	11	4	7	28	3.17
割合(%)		0%	0%	4%	18%	39%	14%	25%	100%	
従来・ユニット計		0	0	2	10	22	23	21	78	

外出・外泊状況

平成28年度

区分 月別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
従来	外出	男	2	8	7	0	2	6	4	7	2	1	6	3	48
		女	20	24	22	7	3	13	10	25	0	12	4	9	149
		計	22	32	29	7	5	19	14	32	2	13	10	12	197
	外泊	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
ユニット	外出	男	0	5	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	11
		女	4	18	9	4	6	6	5	3	2	7	1	3	68
		計	4	23	12	4	6	7	5	4	2	8	1	3	79
	外泊	男	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
		女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
		計	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	5
ユニット・従来計	外出	計	26	55	41	11	11	26	19	36	4	21	11	15	276
	外泊	計	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	7

ボランティア実績月別一覧表

月度	行事				通常業務
	慰問	人数	手伝い	人数	洗濯・清掃等
4月					
5月	メモリアグループ	4			
6月	メモリアグループ	4			
7月					
8月	谷汲民謡さくら会	7	ハートピア谷汲の杜	3	ボランティアスクール
	ふくふく慰問会	10	揖斐川町福祉作業所 いずみ	3	
	谷汲舞踊クラブ	2	谷汲食生活改善協議会	8	
			株式会社ながせむがせ薬局	3	
			揖斐川町商工会女性部	5	
			谷汲赤十字奉仕団	5	
			ハートタウン平成の杜	3	
			東商テクノ株式会社	1	
			有限会社デオドル名古屋システムズ	1	
			(株) トーカイ	2	
			株式会社美装モリタ商会	1	
9月					
10月					
11月	中濃保育園（鼓笛）	45			
12月	安藤様（おかりな・落語）	2			
	あいばち（パチンコ）	1			
1月					
2月					
3月	大正琴いちご畑				
合 計		75		35	
月平均人数		6.25		2.92	
1日平均人数		0.21		0.10	

※ 毎月第1月曜、第3月曜に傾聴ボランティア（わかば） 第2火曜、第4火曜に傾聴ボランティア（ダンボ）

会議実績（月別）

平成28年度

年 月 度	職員 全体会議	施設 運営 会議	従来型業務運 営会議（特 養）	従来型業務運 営会議（短 期）	ケア会議	アセスメント会 議（従来・ユ ニット）	食事サービ ス担当者会議	判 優 定 先 入 所 議	拘束委員 会議	排泄委員 会議	シ ョ ン レ ク リ エ ー 委員 会 議	食 事 委員 会 議	入 浴 委員 会 議	美 化 委員 会 議
H28.4	1	1	1	1	1	13	1	0	1	1	0	0	0	0
H28.5	1	1	1	1	1	11	1	0	1	1	0	1	0	0
H28.6	1	1	1	1	1	13	1	0	0	0	0	0	0	0
H28.7	1	1	1	1	1	13	1	0	1	1	0	0	0	0
H28.8	1	1	1	1	1	13	1	0	1	0	1	0	0	0
H28.9	1	1	1	1	1	12	1	0	1	1	0	1	0	1
H28.10	1	1	1	1	1	14	1	0	1	0	0	0	0	1
H28.11	1	1	1	1	1	11	1	0	1	1	0	0	0	0
H28.12	1	1	1	1	1	12	1	0	1	0	0	1	0	0
H29.1	1	1	1	1	1	12	1	0	0	1	0	0	0	0
H29.2	1	1	0	0	1	11	1	0	1	0	0	0	0	2
H29.3	1	1	1	1	1	12	1	0	1	1	0	0	0	1
合 計	12	12	11	11	12	147	12	0	10	7	1	3	0	5
平均回数	1.00	1.00	0.92	0.92	1.00	12.25	1.00	0.00	0.83	0.58	0.08	0.25	0.00	0.42

年 月 度	接 遇 委 員 会	事 故 予 防 策 策 委 員 会	褥 瘡 予 防 策 策 委 員 会	感 染 症 策 策 委 員 会	防 災 委 員 会	訪 問 介 護 員 会 議	医 務 会 議	機 能 訓 練 指 導 員 会 議	タ ー ミ ナ ル ケ ア 委 員 会 議 (機 関 ・ 反 省 会)	用 務 員 介 助 員 会 議	ユ ニ ッ ト リ ー ダ ー 会 議	ケ ユ ニ ッ ト 会 議	会 議 (ゆ り ・ も み じ)	合 計
H28. 4	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	3	31
H28. 5	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	32
H28. 6	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	28
H28. 7	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	3	31
H28. 8	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	31
H28. 9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	3	35
H28.10	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	3	35
H28.11	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	1	3	30
H28.12	1	1	1	0	0	1	1	1	2	1	1	1	3	34
H29. 1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	3	30
H29. 2	0	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	3	32
H29. 3	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	3	34
合 計	3	10	10	5	4	12	12	12	7	5	12	12	36	347
平均回数	0.25	0.83	0.83	0.42	0.33	1.00	1.00	1.00	0.58	0.42	1.00	1.00	3.00	28.92

平成28年度 行事食の実施状況

行事	実施日	行事	実施日
花祭り 誕生会	4月6日	お楽しみ食事会	9月21日
		手作りおやつ	9月25日
寿司出前	4月28日	誕生会	10月19日
菖蒲のついで	5月7日	お楽しみおやつ	10月19日
		手作りおやつ	10月25日
手作りおやつ	5月15日	出前	10月25日
誕生会	5月18日	居酒屋	11月17日
誕生会	6月15日		11月23日
お楽しみ食事会	6月23日		11月24日
手作りうどん	6月26日	餅つき会	12月10日
居酒屋	6月29日 (夕食後)		12月10日
七夕会 誕生会	7月7日	クリスマス	12月14日
			12月16日
出前	7月19日		12月21日
出前	7月25日		12月24日
盆供養 誕生会	8月3日	正月	1月1～3日
夏祭り	8月6日	七草	1月7日
		左儀長	1月11日
手作りおやつ	8月12日		1月15日
出前	8月16日	手作りおやつ	1月30日
お楽しみおやつ	9月17日	節分会	2月3日
			3月1日
		雛祭り	3月3日
			3月9日
		誕生会	3月9日

（５）短期入所生活介護事業（介護予防短期入所生活介護事業含む）事業実績報告

平成 28 年度の事業実績

利用者の緊急受入への積極的対応と短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護事業含む）の１日平均稼働率 7 床を必須目標に設定して事業実施体制の更なる確立を目指して運営してまいりました。

（１）ケアマネージャーとの連携強化

居宅介護支援事業所に頻繁に出向き、事前情報の収集や利用後のフォローを十分に行うことにより、当事業所の信頼を向上させる。

- ・ケアマネージャーから急なショート利用の依頼があった場合や、短期利用者の急変時に備えて、ケアマネージャーとの電話連絡を行い、相談や報告等を心がけました。また、毎月の実績提出の際、担当ケアマネージャーに利用中の方の情報提供・情報共有を図りました。
- ・利用者様の重度化に伴っては、専門的なケアが必要なケースが多くありましたが、担当ケアマネを中心としたサービス担当者会議の開催により、ケア方法の助言を受ける事で、施設利用時においても健康的で安心した生活を送って頂く事が出来ました。
- ・施設が行える専門的な医療処置として、主治医と連携して、容態などの情報の共有や処置方法の指導を頂き、可能な限りの受け入れを行いました。

（２）ショーステイ担当者の役割を明確化

担当者は家族、関係機関との連携を図り、スムーズで満足いただけるサービスに向けて業務を工夫する。また、短期入所業務運営会議を開催する。

- ・平成 27 年 3 月に短期主担当、副担当を配置し、現場内での書類作成、短期利用者の現状把握、課題解決を行ってきました。今後も、ご家族・関係機関との連絡や連携は生活相談員が行い、現場への周知や通達等は短期担当職員が行なうようにします。
- ・短期入所業務運営会議は、従来型業務運営会議の中に位置付け、短期部門として議題を挙げ、ケアの内容の検討、家族との連携などについて話し合いました。会議では、短期利用者の荷物忘れについて話し合う事も多く、長年の課題となっています。今後も、荷物忘れを無くす事ができるよう、努力します。
- ・課題として、現在短期主担当と副担当でうまく業務を分配できていないと感じられるため調整しより効率的に業務を進められるようにしたいです。

（３）新規利用者の獲得

初回利用を掘り起こすために、地域のニーズを把握して新規獲得に努める。

- ・土日祝祭日の送迎や夕食後の送りなど送迎時間の変更等に、できる限り対応し、ご家族・ケアマネの要望に応じた対応が図れたと思います。また、新規利用者が継続してショーステイを利用して頂けるよう、事前調査資料やケアマネージャーからの情報を基に、居室環境を整え次回も利用して頂けるよう配慮し、対応方法や注意しなければならない事を申し送りや会議を通して周知しました。
- ・新規利用者の獲得もあり、6～9 月の平均稼働率は 7 割以上となりましたがまだ、短期利用者の特養入所や状態低下による入院、老健入所により再び低下しています。次年度も引き続き、新規利用者の獲得においては、各事業所やケアマネージャーとの連絡を密に行ないます。

（４）利用者及び家族の満足度の向上

緊急利用、または初めての利用を次に繋げるために、ご家族との連絡を密に行いニー

ズに耳を傾け、実行に移す努力をする。

- ・急な場合でも利用出来る安心感や笑顔溢れる施設環境を設ける事ができました。
- ・施設内や施設外への行事参加を積極的に行う事が出来ました。
- ・施設対応での送迎時や電話連絡を行う事により、利用者様の施設での様子や、記録では伝わらない表情や仕草を伝えていき、次の利用や個別ケアに繋げていく事が出来ました。

(5) 従来の問題点の改善

忘れ物、苦情に迅速に対応して信頼を得るように業務を見直す。

- ・昨年度同様、忘れ物に関する課題を解決するに至りませんでした。職員間で話し合い、チェックや確認の仕方などを工夫し、記名を徹底し忘れ物を減らす事はできたと感じられます。

また、荷物忘れを無くすには職員の意識と、再確認が必要不可欠であり、退所時に薬の確認や鞆以外の荷物の確認等介護員だけでなく用務員や付添の職員が声をかけることも重要だと感じています。

仮に荷物忘れが発生してしまった場合は、その経緯や現場での確認できる体制を強化することを今後も継続して行います。

- ・大きな苦情はありませんでしたが、ご家族からのご意見や、何気ない会話から、本当に言いたい事は何かを考え、利用者やご家族様の信頼回復に努める事が重要であると再認識しました。利用者やご家族様の要望を第一に考え、苦情から学び、施設をより良くしていく為の財産としていきたいです。利用者やご家族様が施設に対して抱く思いは多種多様であります。利用者やご家族様がどんな思いで施設利用に至っているのか、我々が出来る最大限のサービスと心遣いを持ってケアにあたる事が重要であると感じました。

(6) 定期的利用者のケアプランの充実と反映

定期的に利用される方については入所者と同様のアセスメントや支援計画を作成検討し、サービスの向上に努める。

- ・短期利用者様においても、機能訓練を実施する事ができました。個別に平行棒を使用した歩行訓練、機能訓練指導員による指導の下、レクリエーションを兼ねたりハビリを行いADLの維持、向上に努めました。その結果、他の特養入居者様とも触れ合う事ができ、楽しみながら体を動かす事で、利用者様の笑顔が増したようにも感じます。
- ・担当ケアマネジャーからのケアプランを基に、施設ケアプランの立案、実施に心がけていますが、個々によっては、全く変化のないまま現状通りのプランが長い期間で計画されている問題点が挙げられます。施設内での利用者様の様子をご家族のみならず、担当ケアマネジャーにいかにか上手く伝えていきプランに反映していくかが切であり、利用者様の状態に合わせたプラン作りをお願いしていきます。

(7) 地域に根付いた施設のあるべき姿

地域の居宅介護支援事業所との連携を密に図り、受け入れや利用の相談を行う。また、福祉課などの行政と協力し合い、地域になくてはならない施設作りを目指す。

- ・地域にとってなくてはならない施設である事を再認識しました。介護における悩み事

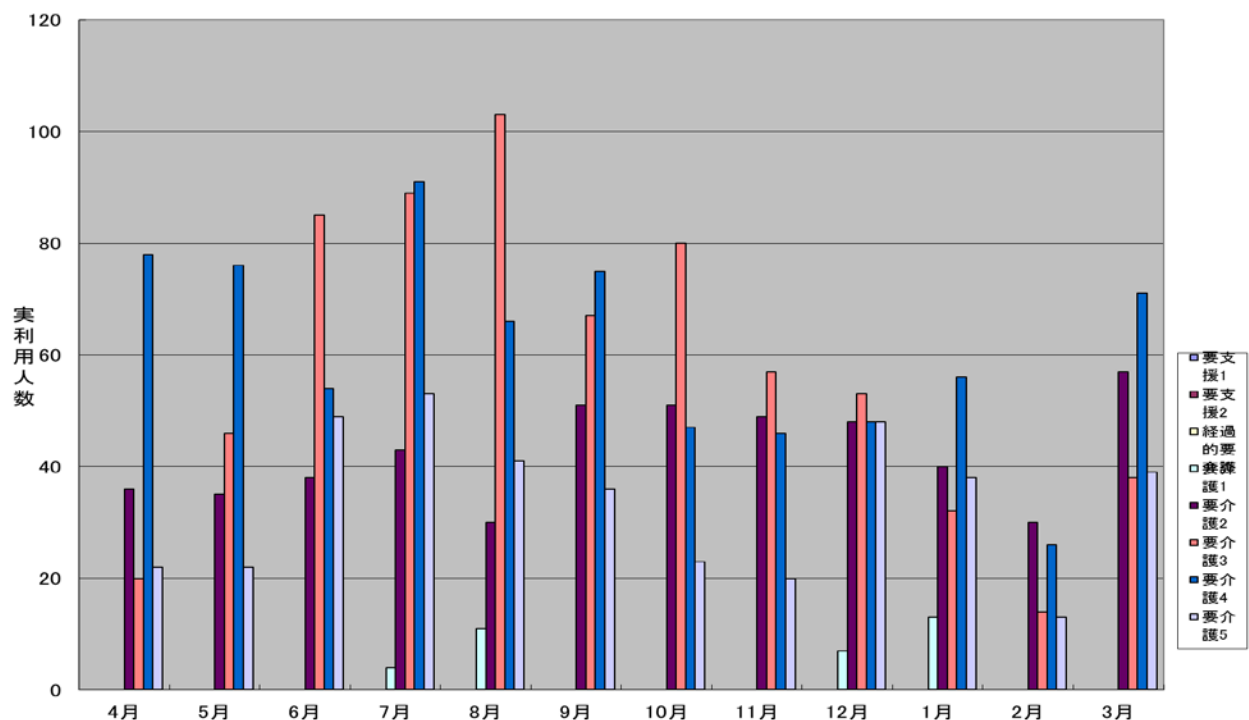
が気軽に相談出来る事や、より地域の皆様に施設を開放し、交流をもつ事が大切であります。それが谷汲という地域のなかで、より強固に根付く為の施設が求められるあるべき姿であります。

- ・ 周辺地域や住民からの施設案内や介護予防講座の依頼には、積極的に出かけて、施設の必要性を一層理解して頂くとともに、今後の施設の在り方を皆様と一緒に考えて、地域住民の福祉の充実化と施設の発展を目指していきます。
- ・ 盆、年末年始、祝祭日などの要望に応じ、送迎を実施したり、可能な限り、ご家族が希望する送迎の時間に合わせる事や、送迎の場所を自宅のみならず、医療機関など、利用者様のニーズに応じた送迎体制を図る事が出来ました。

平成28年度 特別養護老人ホーム ハートヴィレッジ谷汲の杜 居宅介護事業（短期入所生活介護）実績

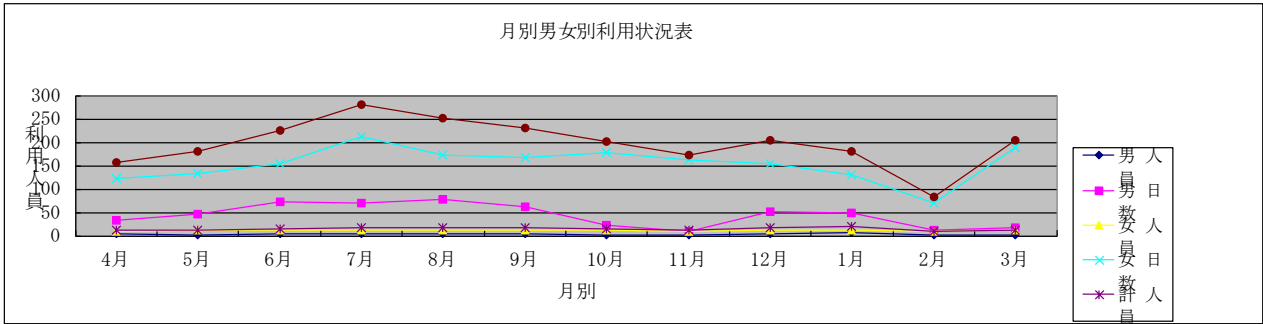
介護度 月	要支援1	要支援2	経過 的 要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	送迎	月利用者数	日平均	稼床率	日平均（送迎）	車両稼働率	利用 人員数
4月	0	0		0	36	20	78	22	37	156	5.20	52%	123%	123%	12
5月	0	0		0	35	46	76	22	28	179	5.77	58%	90%	90%	13
6月	0	0		0	38	85	54	49	39	226	7.53	75%	130%	130%	15
7月	0	0		4	43	89	91	53	48	280	9.03	90%	155%	155%	16
8月	0	0		11	30	103	66	41	46	251	8.10	81%	148%	148%	17
9月	0	0		0	51	67	75	36	47	229	7.63	76%	157%	157%	17
10月	0	0		0	51	80	47	23	45	246	7.94	79%	145%	145%	14
11月	0	0		0	49	57	46	20	33	205	6.83	68%	110%	110%	11
12月	0	0		7	48	53	48	48	48	204	6.58	66%	155%	155%	18
1月	0	0		13	40	32	56	38	49	228	7.35	74%	158%	158%	19
2月	0	0		0	30	14	26	13	32	115	4.11	41%	114%	114%	10
3月	0	0		0	57	38	71	39	45	250	8.06	81%	145%	145%	13
合計	0	0	0	35	508	684	734	404	497	2365	6.48	65%	136%	136%	175

短期入所生活介護実績



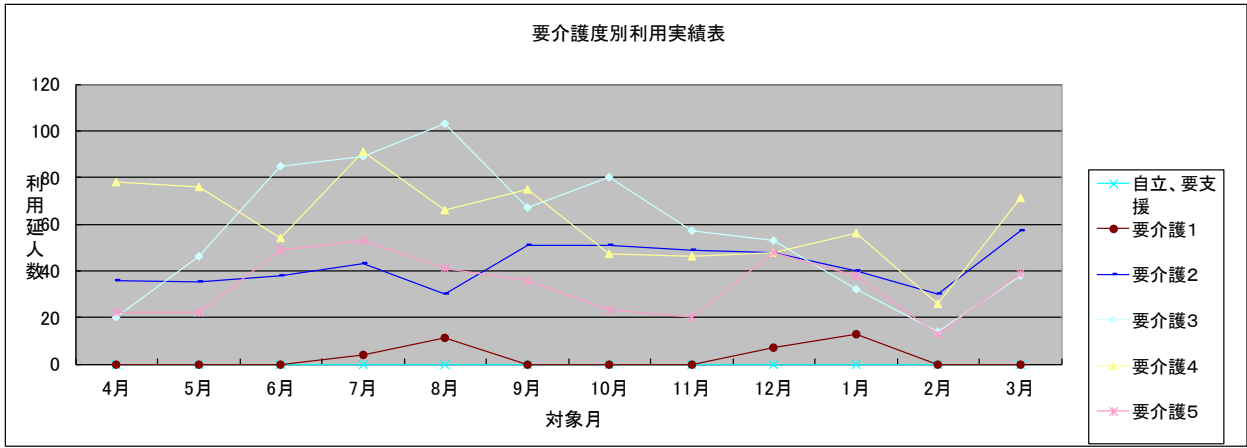
月別利用日数状況

性別		平成28年											平成29年			計	日平均 利用人員
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
男	人員	3	2	4	4	5	5	2	1	5	6	2	1	40	0.11		
	日数	33	46	73	69	78	61	23	10	51	48	13	17	522	1.43		
女	人員	9	11	11	12	12	12	12	10	13	13	8	12	135	0.37		
	日数	123	133	153	211	173	168	178	162	153	131	70	188	1843	5.05		
計	人員	12	13	15	16	17	17	14	11	18	19	10	13	175	0.48		
	日数	156	179	226	280	251	229	201	172	204	179	83	205	2365	6.48		



介護度別利用状況

介護度 月別	要支援 1	要支援 2	経過的要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	送迎回数	日平均
4月	0	0	0	0	36	20	78	22	156	37	1.23
5月	0	0	0	0	35	46	76	22	179	28	0.90
6月	0	0	0	0	38	85	54	49	226	39	1.30
7月	0	0	0	4	43	89	91	53	280	48	1.55
8月	0	0	0	11	30	103	66	41	251	46	1.48
9月	0	0	0	0	51	67	75	36	229	47	1.57
10月	0	0	0	0	51	80	47	23	201	45	1.45
11月	0	0	0	0	49	57	46	20	172	33	1.10
12月	0	0	0	7	48	53	48	48	204	48	1.55
1月	0	0	0	13	40	32	56	38	179	49	1.58
2月	0	0	0	0	30	14	26	13	83	32	1.14
3月	0	0	0	0	57	38	71	39	205	45	1.45
合計	0	0	0	35	508	684	734	404	2365	497	1.36
利用人員	0.00	0.00	0.00	0.10	1.39	1.87	2.01	1.11	6.48	1.36	
利用率	0%	0%	0%	1%	14%	19%	20%	11%	65%		



(6) 訪問介護事業・居宅介護事業ハートヴィレッチ谷汲の杜 事業報告

利用者が安心して在宅での生活が継続できるよう、訪問介護員 4 名（常勤換算 3 名）で、訪問させて頂きました。

介護保険法における訪問介護に関しては、新規登録者 3 名（うち予防介護 1 名）、解約者 1 名。解約者の内容は他サービス利用のため。

障害者総合支援法における居宅介護に関しては、新規登録者、解約者共に無し。

平成 28 年 9 月より地域生活支援事業の移動支援事業を開始。現在利用者 3 名、利用希望あるも利用開始に至っていない待機者が 3 名。

また、訪問利用希望がありながらも、訪問利用に至らなかったケースが 3 件 うち 2 名はサービス利用開始には時期尚早というケアマネの判断による利用中止、残り 1 件は前任のヘルパー事業所が引き続き支援を再開できるようになったため。

今年度は上半期に利用者の獲得が思うようにできず、訪問件数の減少に頭を悩ませました。転じて下半期は介護保険法の利用者の増加、移動支援事業の開始により訪問件数も増加し、逆に訪問員の確保に頭を悩ませました。

現在利用者は介護保険法 9 名 障害者総合支援法 4 名 地域生活支援事業 3 名 計 16 名となっています。

(1) 営業日・営業時間

- ・月曜日から金曜日（ただし、12月30日から1月3日を除く）
- ・午前8時30分～午後5時30分
- ・利用者のニーズに合わせ、土曜日・日曜日・祝祭日、早朝・夜間も訪問できる体制。

◎毎日訪問 365 日の実績

(2) ケアマネージャーとの連携強化

居宅介護支援事業所の介護支援専門員作成の居宅サービス計画に基づき、訪問介護計画書手順書を作成し、サービス提供を行いました。

居宅介護支援事業所の介護支援専門員とは情報交換を図り、利用者様の身体状況の変化に合わせたサービスを行うよう提案してまいりました。

要請があったサービス担当者会議には、出席し、他職種事業所との連携を図っております。

障害者総合支援法に関しても、介護保険法と同様、相談支援員との連携に努めています。

また、移動支援事業の開始に伴い、連携する相談支援事業所も増え、今後より一層他事業所との連携強化を図っていききたいと思います。

(3) 訪問介護員会議の開催

訪問介護員会議を毎月 1 回定期的に開催し、利用者情報を共有し、介護方法・技術の向上を図ってきました。利用者のプランの見直しについても随時行ってきました。

訪問介護員の情報交換の場として定着、議事録等を交代で行っています。

(4) 利用者の把握

利用者の変化に早く気づき、状態に合わせた介護を目指す。

利用者からの希望や要望には、即座に対応し、苦情等は真摯に受け対応する。

利用者・家族・地域に信頼される事業所を目指す。

携帯電話の活用による即時対応を継続する。契約時に番号の登録を行う。

訪問先は独居・高齢者世帯・高齢者の親と障がい者の子の世帯があり、訪問利用者だけでなく家族や地域との関係・どのような援助を希望されているのかの把握が必要であるので、家族が来訪時には、「挨拶」「コミュニケーション」をとるように訪問介護員全員が心がけています。

(5) 訪問件数実績

1ヵ月平均 200 件の訪問を目指し、1ヶ月平均 180 件の訪問を致しました。

◎平成 28 年度実績	介護保険法	1,445 件 (月 120 件)
	障害者総合支援法	699 件 (月 58 件)
	移動支援事業	21 件 (月 3 件)

* 前年度比は介護保険法月+15 件、障害者総合支援法は月+9 件の増の結果となりました。

(6) 研修実績

- ◎ 事業所内研修 勉強会(倫理・法令遵守、身体拘束・虐待、接遇とマナー)
- ◎ 施設内研修実施 危険予知訓練・感染症予防・口腔ケア指導・介護用リフト
- ◎ 施設外研修実施 介護職員スキルアップセミナー(失語症の方への対応)に参加
サンビレッジ国際医療福祉専門学校
- ◎ 普通救命講習会(揖斐郡消防本部) 2 年に 1 回 1 名参加
- ◎ 揖斐川町施設職員連絡会 (イマドキの創傷治療・揖斐川町の施設ケアの未来を考える)
- ◎ 高齢者施設における虐待・身体拘束対応研修
- ◎ 総合事業(介護予防・日常生活支援事業)研修会
総合事業(介護予防・日常生活支援事業)の実施に伴う事業所説明会

地域との連携と情報交換

- ◎ 谷汲地域ケア会議 毎月第 2 金曜日
- ◎ 揖斐川町障がい者支援関係者連絡会 隔月第 2 火曜日 年 6 回
- ◎ 西濃圏域障がい者自立支援協議会(3 回)

(1) 指定訪問介護事業所事業実績表

○介護保険法

平成29年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計／平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
派遣回数【A】	95	100	102	100	105	119	99	144	146	128	153	154	1445
登録者数	7	7	6	6	6	8	6	8	8	9	9	10	90
内訳	新規登録者数					1		1				1	3
	中断中人数		1	1	1	1		1	1				6
	途中中断者数	1					2					1	4
	中断復帰者数					1		1		1			3
	廃止・死亡者数											1	1
延利用者数【B】	95	100	102	100	105	119	99	144	146	128	153	154	1445
延利用時間数【C】	88.5	93	94	85.75	96	103.25	92.75	116	123	117.75	133.5	131	1274.5
実利用者人数【D】	6	6	6	6	6	8	6	8	8	9	9	9	87
ヘルパー人数【E】	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
日平均 利用数	B／A	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	C／B	0.93	0.93	0.92	0.86	0.91	0.87	0.94	0.81	0.84	0.92	0.87	0.88
	B／D	15.83	16.67	17.00	16.67	17.50	14.88	16.50	18.00	18.25	14.22	17.00	16.61
平均 派遣数	B／E	23.75	25.00	25.50	25.00	26.25	29.75	24.75	36.00	36.50	32.00	38.25	30.10
	C／E	22.13	23.25	23.50	21.44	24.00	25.81	23.19	29.00	30.75	29.44	33.38	26.55

(2) サービス内容別 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
身体1生活1	55	56	56	55	66	64	60	62	53	55	53	48	683	56.92
身体1生活2	4	5	4	5	4	4	5	4	13	13	12	13	86	7.17
身体3生活1													0	0.00
身体1生活3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	14	1.17
身体介護0					1								1	0.08
身体介護1	19	21	22	19	23	37	19	62	61	35	57	61	436	36.33
身体介護2											3		3	0.25
身体2生活2													0	0.00
生活援助3	12	11	11	11	10	12	13	15	18	23	25	29	190	15.83
生活援助2				1		1	1			1			4	0.33
介護予防(Ⅱ/Ⅰ)	4	6	8	8								2	28	2.33
計	95	100	102	100	105	119	99	144	146	128	153	154	1445	
1日平均	3.17	3.23	3.40	3.23	3.39	3.97	3.19	4.80	4.71	4.13	5.28	4.97	3.95	

